

# 第18回 日本疲労学会総会・学術集会

報道関係者各位

2022年6月2日  
一般社団法人日本疲労学会

## 第18回疲労学会総会・学術集会 ～脳内ストレスと疲労科学：基礎と臨床の融合～

「With コロナでの新しい生活様式がもたらしたものは？」  
現代のストレス社会における最新の脳科学、  
疲労からの回復と健康をテーマとしたシンポジウムも開催

一般社団法人日本疲労学会（理事長：渡辺恭良）は、2022年6月11日、12日の2日間にわたり兵庫県西宮市の兵庫医科大学平成記念会館にて、第18回日本疲労学会総会・学術集会～脳内ストレスと疲労科学：基礎と臨床の融合～（大会長：小山英則 兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座 主任教授）を開催いたします。

当学会はこれまで生理的疲労、病的疲労、慢性疲労、産業疲労などの疲労全般を科学的に扱い、学術の発展や医療の質の向上に寄与することを目的として活動を展開してきました。このたび、第18回学術集会を開催するにあたり、ストレス社会・with コロナ下における人々の健康面向上に少しでも貢献できればと考え、以下の企画、シンポジウムを新たに企画しました。ご関心のある報道機関の皆様は是非ご参加ください。

*Japanese Society of Fatigue Science*

日本疲労学会

## 第18回 日本疲労学会総会・学術集会

6月11日(土) 9:40-12:00

### 特別企画 「Long COVID-19、新しい生活様式と疲労」

新型コロナウイルス感染症が流行してから約2年間が経過し、マスク着用習慣から外出自粛、在宅勤務など「新しい生活様式」を強いられる中で、人々が日常生活で抱える疲労感や自覚症状はどのように変化したのか、健康面への影響はどうか、また感染後の後遺症に悩まされている人々の実態はどうか。コロナ感染症患者のその後の症状変化について診療を続けておられる北野病院呼吸器科の丸毛聡先生に基調講演をお願いし、一般臨床医、産業医、さらには大学研究者といった様々な分野から演題発表をいただき、これからも続く「新しい生活様式」での疲労対策について考えます。

6月11日(土)14:10-16:10

### シンポジウム1 「脳内ストレスと炎症からみた疲労科学」

(Hyogo Innovative Challenge 共催)

職場での長時間労働や様々な人間関係、加えて予期せぬCOVID-19の流行など様々なストレスを抱える現代社会において、脳内でのストレスが生体へどのような影響を与えるかを包括的に検討する取り組みは限定的でした。2019年から「Hyogo Innovative Challenge (HIC)」と題した脳内ストレスによる様々な生体への影響と、その意義を解明することを目的とした兵庫医科大学の全学横断的なプロジェクト研究事業が開始されました。

本シンポジウムは、このHICの共催企画として、脳内ストレス、炎症からみた疲労科学研究の現状と未来について、4人の専門家から疲労・疼痛・感覚器を中心とした脳科学に関する最前線の研究内容を発表いただきます。

6月12日(日)15:00-16:00

### 特別企画シンポジウム「疲労からのリカバリーと健康科学」

(日本リカバリー協会共催)

現代のストレス社会では疲労蓄積の予防に加えて、蓄積された疲労をいかに早く軽減し、元の状態へ戻すかといった回復過程も重要です。しかし、これまで当学会ではこの回復過程にスポットを当てたセッションがありませんでした。今回、日本リカバリー協会との共同企画として本セッションを企画しました。疲労からの回復過程の重要性や抗疲労対策モデルなどを提示いただき、これからの「新しい疲労対策」の道筋を構築したいと考えています。

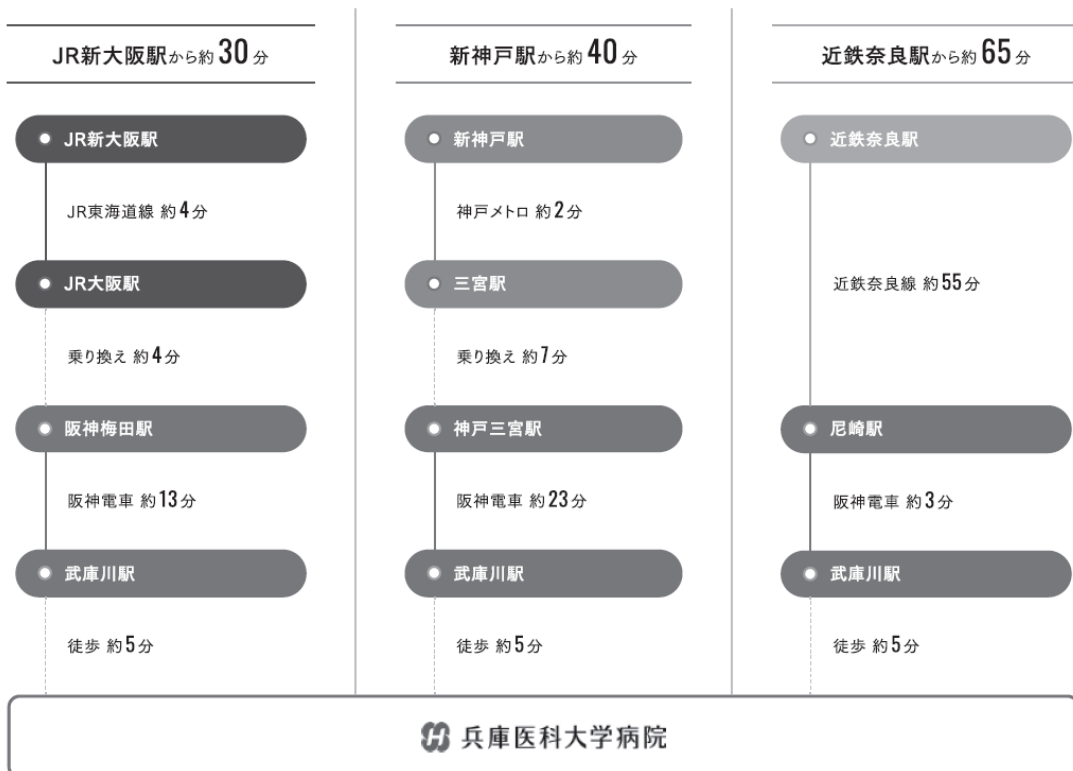
#### 【開催概要】

- 会議名称 : 第18回日本疲労学会総会・学術集会  
テーマ : 脳内ストレスと疲労科学：基礎と臨床の融合  
会期 : 2022年6月11日(土)・12日(日)  
会場 : 兵庫医科大学 平成記念会館  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1  
会長 : 小山 英則  
(兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座 主任教授)  
事務局 : 兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座 角谷 学  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1  
TEL:0798-45-6473  
運営事務局 : 株式会社 エー・イー企画  
〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6階  
TEL: 06-6350-7247/FAX: 06-6350-7164  
E-mail: jsfs2022@aeplan.co.jp

## 報道機関各位へ

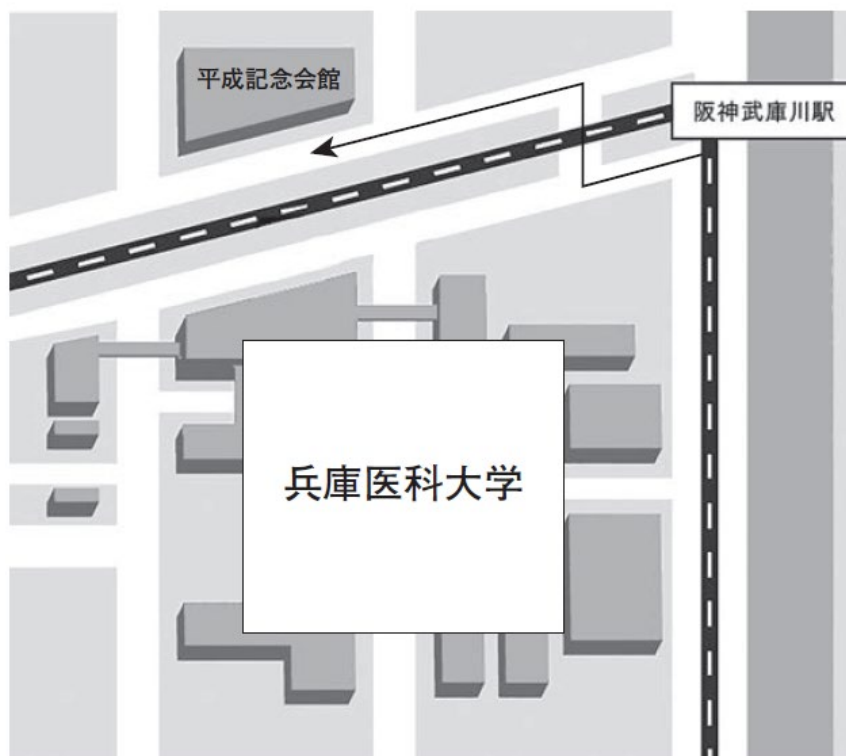
- 取材をご希望の場合は、当日に会場内総合受付までお越しいただき、お名刺と同意書をご提出ください。
- 取材が確定している場合は、会期前日（6月10日（金））17時までに下記事務局までご連絡ください。
- 発表者へ取材を希望される方は取材対応者にお申し出ください。但し、取材内容は発表の講演に関することに限定されます。その他の内容について回答致しかねる場合があります。詳しくは取材対応者にお問い合わせください。
- 発表スライド内容、ポスター掲示内容の撮影については、必ず発表者の許可を得てください。  
（著作権、その他の理由でお断りする場合があります）。
- 著作権の侵害にあたる恐れのある取材、また、個人情報保護の観点から問題となる恐れのある取材はお断りいたします。

## 交通のご案内



第18回  
日本疲労学会総会・学術集会

会場へのアクセス



## 第18回 日本疲労学会総会・学術集会

### 【一般社団法人日本疲労学会概要】

「一般社団法人日本疲労学会（Japanese Society of Fatigue Science）」は、慢性疲労症候群（CFS）研究会、疲労研究会、文部科学省疲労研究班などが母体となり、疲労全般に関する研究発表、知識の交換の場として平成17年に発足いたしました。当学会では、生理的疲労、病的疲労、慢性疲労、産業疲労などの疲労全般を科学的に扱い、学術の発展や医療の質の向上に寄与することを目的と致しています。

#### 理事長

渡辺 恭良 理化学研究所 生命機能科学研究センター

#### 理事

稲葉 雅章 社会医療法人 寿楽会 大野記念病院

片岡 洋祐 理化学研究所 生命機能科学研究センター

木山 博資 名古屋大学大学院医学系研究科 機能組織学

倉恒 弘彦 株式会社 FMCC

小泉 淳一 放送大学神奈川学習センター

近藤 一博 事務局長 東京慈恵会医科大学ウイルス学講座

野島 順三 山口大学大学院医学系研究科

伴 信太郎 中津川市地域総合医療センター/ 愛知医科大学医学教育センター

#### 監事

岡 孝和 国際医療福祉大学成田病院 心療内科

小山 英則 兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座

URL : <http://www.hirougakkai.com/>

第18回日本疲労学会総会・学術集

<https://www2.aeplan.co.jp/jsfs2022/outline.html>

#### <報道関係者お問い合わせ先>

第18回日本疲労学会総会・学術集会 広報事務局

担当：角谷 学（かどや まなぶ）

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座

TEL: 0798-45-6473

メール: [mkadoya@hyo-med.ac.jp](mailto:mkadoya@hyo-med.ac.jp)

○次ページより、今回の3企画の各演題名、発表者、発表日時、場所をご案内致します。

# 第18回 日本疲労学会総会・学術集会

## 特別企画 Long COVID-19, 新しい生活様式と疲労

日時： 6月11日(土) 9:40-11:20 (一般演題) / 11:30-12:00 (基調講演)

会場： 平成記念会館 講堂

座長： 片岡 洋祐 (理化学研究所 生命機能科学研究センター)

山口 浩二 (大阪公立大学医学部附属病院 疲労クリニカルセンター)

### SP1 当施設における新型コロナ罹患後症状患者の実態について

発表者：馬場 研二 (愛知医科大学メディカルセンター)

### SP2 COVID-19 後遺症患者における客観的な疲労関連評価の検証

発表者：中富 康仁 (ナカトミファティীগケアクリニック)

### SP3 長期化する在宅勤務とストレスチェックによる心身疲労度との関連

発表者：黒木 和志郎 (パナソニック健康保険組合産業保健センター)

### SP4 コロナ禍における外出自粛と在宅勤務による生活習慣変化と身体愁訴と仕事のパフォーマンスとの関係

発表者：田中 完 (白十字総合病院 神栖産業医トレーニングセンター)

### SP5 在宅勤務頻度と適正な生活習慣の検討

発表者：東 蓉子 (パナソニック健康保険組合 産業保健センター)

### SP6 COVID-19 における緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置が睡眠に与える影響～ HDHCC 研究～

発表者：井上 智香子 (兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座)

### SP7 放課後等デイサービスの児童生徒に対する睡眠と疲労の客観的健康評価－新型コロナ ウイルス感染症流行下における変化－

発表者：大川 尚子 (京都女子大学)

### SP8 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 後遺症モデルマウスの作製および病態の解 析

発表者：岡 直美 (東京慈恵会医科大学 ウイルス学講座)

### SPPL (基調講演) 症例から考察する COVID-19 後遺症の病態と診療の実際

発表者：丸毛 聡 (公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院)

# 第18回 日本疲労学会総会・学術集会

## シンポジウム1 脳内ストレスと炎症からみた疲労科学

---

共催： HIC プロジェクト

日時： 6月11日（土） 14:10-16:10

会場： 平成記念会館 講堂

座長： 小山 英則（兵庫医科大学 医学部 糖尿病内分泌・免疫内科学講座）  
木山 博資（名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学）

### S1-1 末梢知覚刺激が惹起する脳内炎症から機能性身体症候群を読み解く

---

発表者：木山 博資（名古屋大学 大学院医学系研究科 機能組織学）

### S1-2 脳内ストレスにおける疼痛の情動神経機構

---

発表者：古江 秀昌（兵庫医科大学 生理学・神経生理部門）

### S1-3 神経炎症と代謝異常を基軸とした疲労病態

---

発表者：片岡 洋祐（理化学研究所 生命機能科学研究センター/理化学研究所 理研-JEOL 連携センター）

### S1-4 ヒトヘルペスウイルス6(HHV-6) SITH-1 による脳内ストレスと炎症

---

発表者：近藤 一博（東京慈恵会医科大学・ウイルス学講座）

## 特別企画シンポジウム 疲労からのリカバリーと健康科学

---

共催： 日本リカバリー協会

日時： 6月12日（日） 15:00-16:00

会場： 平成記念会館 講堂

座長： 渡辺 恭良（理化学研究所 生命機能科学研究センター）  
片野 秀樹（一般社団法人 日本リカバリー協会）

### SS1 休養マネジメントのススメ

---

発表者：片野 秀樹（一般社団法人 日本リカバリー協会）

### SS2 10万人データからの日本の疲労状況の分析と抗疲労マーケティングモデルの構築

---

発表者：春木 完堂（一般社団法人日本リカバリー協会）

### SS3 日本疲労学会の将来像と日本リカバリー協会との連携

---

発表者：渡辺 恭良（理化学研究所 生命機能科学研究センター / 大阪公立大学 健康科学イノベーションセンター / 一般社団法人日本疲労学会 / 一般社団法人日本リカバリー協会）